

## 令和6年6月議会報告 新清掃センター建設と地域合意形成

【背景】老朽化した清掃センターの更新に伴い、日田市は山田町に新しい清掃センターの建設を進めています。しかし、地域住民からは「臭気」「安全性」「情報公開」に対する不安の声も上がり、地域との信頼構築と合意形成が重要なテーマとなっています。

【崎尾の問題提起】崎尾は、「市民アンケートでは臭いを感じるとの声があるが、測定結果は数値化されていない」と指摘。住民の実感とデータの乖離を是正するため、科学的根拠に基づいた説明と公開の徹底を求めました。また、山田原畜産との協議経過にも触れ、「行政・事業者・地域の三者協議の場を定期的に設けるべき」と提案しました。＞「行政が“説明した”で終わらず、住民が“納得できた”と言える場をつくることが、共存への第一歩」と強調しました。

【市の回答】市は、法令基準を上回る厳しい自主基準を設定し、排ガス・臭気・大気の測定を定期的実施する方針を示しました。また、地元連絡協議会を設置し、モニタリング結果を市ホームページで公開するなど、透明性の確保を約束しました。

【その後の動きと展望】環境保全協定の締結に向けた協議が進み、臭気測定など科学的根拠に基づく分析を導入。これにより、住民がデータを共有しながら意見交換できる仕組みが整いつつあります。今後は、事業者と行政、そして地域住民が同じ情報を共有し、共に検証する関係を築くことが目標です。

＞生活の安心と環境の持続は両立できる。＞対話と信頼が、次の50年の清掃行政を支える。